



# くすのきだより



令和8年2月2日  
来迎寺小学校  
臨時号

## 【令和7年度学校評価アンケート結果について】

この度は、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

評価結果と、それを踏まえた今後の教育活動方針をお知らせいたします。

これからも、本校の教育活動にご理解、ご協力を願いいたします。

### 1 評価の対象について

下表のとおり、児童、保護者、教員を対象に実施しました。

児童	保護者	教員
自分の姿勢や取組の成果を評価します。	お子様の取組や成果を通して、学校活動の成果を評価します。	自分の姿勢や指導・支援の成果・状況について評価します。

### 2 評価結果の記載方法について

各質問項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」に当てはまる回答した場合を肯定的評価としました。肯定的評価の割合については各質問項目の行を参照してください。なお、( ) 内は令和6年度との比較です。

児童、保護者、教員の三者とも肯定的評価が90%を超えた場合は、項目の先頭に○、そうでない場合は、段階的に○や▲を付けました。

### 3 評価結果と分析

#### ◎ 学校生活【肯定的評価 児童：93% (-1%) 保護者：98%(+2%) 教員：100% (±0%)】

三者とも肯定的評価が90%を超えており、保護者の肯定的評価が昨年度より高いのは喜ばしいことです。多くの児童が、「考える わかる 楽しい」授業づくりを通して満足感を得られたり、普段の生活や行事などで仲間とのかかわりを通して達成感が得られたりした結果だと考えます。今後も、児童が「授業や生活が楽しい」と感じられる学校となるよう、学級・学年経営を通して、児童一人一人のよさを認め励ましながら、仲間（縛）づくりを推進していきます。

#### ○授業【肯定的評価 児童：87%(-2%) 保護者：91%(+1%) 教員：100% (±0%)】

保護者の肯定的評価が昨年度より1%高くなりました。しかし、児童の肯定的評価は2%下がって依然90%未満で、教員との差が10%以上あります。教員は、日々の授業を通して、児童が「分かるうれしさ」や「学ぶ楽しさ」を感じられるように取り組んでいます。さらに児童が「授業が楽しく、勉強していることがよく分かる」と感じられるように、一人一人が活躍できる場面や、集団での学び合いによる成功体験を増やすことで、仲間と学ぶよさや楽しさを実感できる授業づくりを目指していきたいと思います。

◎ 協働学習グループ活動 【肯定的評価 児童：91% 保護者：95% 教員：100%】

今年度、新たに設けた本項目は、本校が研究主題「自ら進んで考え、仲間と伝え合い、学びを深める来小っ子の育成」として取り組んでいる「協働学習グループ活動」に対する評価として捉えています。児童の評価が91%と、前述の「授業」に対する児童の評価の87%を上回っていることから、授業の中で仲間と共に学び合うことに前向きな姿勢を感じられます。これからも、協働学習の推進により、コミュニケーション能力を高め、自己有用感や自己肯定感を育んでいきたいと思います。

▲家庭学習【肯定的評価 児童：86%(+1%) 保護者：86%(+4%) 教員：85%(+1%)】

三者ともに肯定的評価が昨年度より高くなりました。家庭学習については、「日々の宿題が少ないので増やしてほしい」「長期休みの宿題が多いので見直してほしい」「ドリルなどの量を増やしてほしい」など、量や内容について、保護者の考え方も多様であり、個々の児童の受け止め方も様々であると感じています。今後も、児童が主体的に学びを定着させたり深めたりできるよう、学年の発達段階や個々の習熟度に合わせた適切な内容や量を検討していきます。

○あいさつ【肯定的評価 児童：81%(-6%) 保護者：93%(-2%) 教員：97%(+3%)】

教員の肯定的評価が昨年度より高くなりました。しかし、児童と保護者の肯定的評価はともに下がっています。地域の方からは「登校時、我々の目を見て、腰を折ってあいさつしてくれる。子供たちの元気な姿を見て元気をもらっています」「登校時はあいさつできる子が少ない」「できる子とできない子がまちまちです」など、様々なご意見をいただいています。今後も、生活委員会によるあいさつ運動や道徳の授業などを通して、あいさつを交わすことによって育まれるよりよい人間関係が実感できるような取組を促進していきます。

◎命・人権【肯定的評価 児童：93%(-3%) 保護者：98%(+2%) 教員：100%(±0%)】

児童の肯定的評価が昨年度より下がっていますが、三者ともに90%以上の高評価です。まだ心の発達段階である児童が、多様な他者と共同生活を行う学校では、些細な言動で相手を傷つけてしまったり、人間関係で悩んだりすることがあります。このような場面を児童が成長する機会と捉えて、児童の気持ちに寄り添い、自分も相手も大切しながら、よりよく生活できる方法を、教員が一緒に考える姿勢で支援していきます。

▲体力づくり【肯定的評価 児童：79%(-3%) 保護者：94%(-1%) 教員：88%(+4%)】

教員の肯定的評価が昨年度より高くなりました。しかし、児童の肯定的評価は3%下がって80%未満であり、保護者の肯定的評価は1%下がっています。夏の暑い時期でも寒さが厳しくなる時期でも、放課には元気よく外で遊ぶ児童が多く見られます。児童の肯定的評価が低い要因は、運動への前向きな姿勢に個人差が大きいことだと考えます。運動に対して消極的であったり苦手意識をもっていたりする児童が、個々の技能に合わせて課題

を選択し、取り組むことができる体育の授業や、外遊びが楽しくなる働きかけを行ったり、環境を整備したりすることで、学校全体の体力向上を目指していきたいと思います。

#### ◎絆づくり【肯定的評価 児童：95%(-1%)保護者：92%(-1%)教員：97%(-3%)】

三者ともに肯定的評価が90%を超えていましたが、肯定的評価が昨年度より低くなりました。児童の絆づくりを促進していくために、係や当番などの学級活動、山の学習や修学旅行などの学年行事における企画・運営など、友達と協働して取り組む場を充実させることで仲間意識を育んだり、帰りの会などにおける他者のよいところを認め、伝え合う活動を通して、お互いに認め合える雰囲気を醸成したりしていきます。

#### ◎防犯・防災【肯定的評価 児童：97%( $\pm 0\%$ )保護者：96%(+2%)教員：97%(+1%)】

保護者と教員の肯定的評価が昨年度より高くなりました。そして、三者ともに95%以上の高評価です。防災訓練では、災害時における教室からの避難方法や避難経路を確認する訓練だけでなく、休み時間に教室外から近くの教員や放送の指示を聞いて、一人一人が避難方法を考えて実践する訓練を行いました。防犯訓練では、不審者侵入による身を守る行動の練習や避難方法の確認を行いました。今後も、防犯・防災教育を充実させ、警察や市安心安全課などと連携しながら、有事の際に適切な対応ができるよう取り組んでいきます。

#### ◎保護者・地域との連携【肯定的評価 児童：97%(-1%) 保護者：92%(-1%) 教員：94%(-2%)】

今年度、学校運営協議会（来小はぐくみ会）が発足し、コミュニティ・スクール活動が始まりました。三者ともに、肯定的評価が昨年度より低くましたが、肯定的評価は90%を超えていました。今年度は特に、1年生給食補助やプール監視補助、ミシン指導補助などの新たな教育活動ボランティアにより、児童の安心安全な教育活動の保障とお子様の学校での様子を見ていただく機会を増やすことに努めました。また、パフォーマンスクラブが地域の文化祭に参加するなど、地域の行事へ児童が参加する機会も増えました。今後もよりいっそう、保護者・地域・学校の情報共有と連携・協働を図りながら、児童の豊かな成長を支える活動を推進していきます。

#### ○なやみ相談【肯定的評価 児童：92%( $\pm 0\%$ ) 保護者：89%(+2%) 教員：97%(+3%)】

保護者と教員の肯定的評価が昨年度より高になりました。児童の肯定的評価が90%を超えていましたので、不安や悩みを教員に相談した児童の多くが「先生に話を聞いてもらえた」「助けてもらえた」と感じています。また、担任だけでなく身近にいる職員が児童の言動や表情に気を配り、いつもと違った様子があれば声かけをする、教員間で情報を共有するといったきめ細かな支援体制で取り組んでいます。そして、必要な場合には、心の相談員（臨床心理士）や外部の支援機関にも加わっていただき、適切な対応に努めています。今後は、児童の様子について、保護者との情報共有や連絡相談もさらに密にしながら、児童一人一人が安心して通える、保護者が安心して通わせられる学校を目指します。

## ◎情報発信【肯定的評価 保護者：93%（±0%）】

ホームページの更新やお便りを通して学校の様子が保護者や地域の方に伝わるようにしています。今年度、災害や不審者の発生など、緊急時のお迎え下校の際に、できるだけ多くのご家族に情報が伝わるよう、複数の保護者や保護者以外のご家族へきずなメールのご登録をお願いした結果、加入数が1200を超えるました。今後も、保護者の役に立つよう改善しながら、適切に情報発信を行っていきます。ぜひご覧ください。

### ※その他いただいたご意見を紹介します

- ・学校に保護者が行く機会が増えて、学習環境を直接見ることができている。仕事の都合をつけてボランティア等にもできれば参加したいなと思う。学習発表会の実施方法は、兄弟がある家庭に配慮した実施方法をお願いしたい。

→今年度は、月1回の保護者が学校に来られる機会（行事や授業参観等）の中で、学校公開日を2回設定し、長い時間の中でご都合に合わせてご参観いただけるようにしました。

→学習発表会については、昨年度は2限（1・3・5年・たんぽぽ組）3限（2・4・6年）だったのを、2限（3・4年・たんぽぽ組）3限（1・2年）4限（5・6年）とし、兄弟関係で無理なくご参観いただけるように変更しました。

- ・公開日が増えましたが、公開日は外部より自由に入りできる体制なので、防犯対策を考えて頂けると安心です。また、日頃の訓練で身に付いていることもあるかと思いますが、慣れない遠足や校外活動での防犯、防災についても、より具体的に検討して頂けるとよいと思います。

→公開日の防犯対策については、保護者の出入りを北門と南門の2か所に絞り、ご参観の際に保護者用名札の着用をお願いしています。不審者の抑止力となるように校内を巡回するなど、更なる防犯対策を考えていきたいと思います。

→遠足や校外活動の安全については、今年度は保護者ボランティアのご協力により、多くの目で子どもたちの活動を見守ることができました。校外活動での防犯、防災についても、事前に想定される危険について引率者で共有し、有事に備えていきたいと思います。

- ・紙の配布量を減らす取組みをご検討ください。スマホやタブレットでスケジュール管理されている家庭も多いかと思いますので、データをHP掲載またはきずなメール配信ですませてもらう方がよいこともあるのではと思います。

→学校からの案内や連絡について、緊急性や重要度の高いものは、紙での配付ときずなメールの両方で周知するようにしています。今後、必要に応じて紙ではなく、きずなメールやホームページで周知し、紙の配付を減らしていきたいと思います。